

安全・適正委員会からのお知らせ No.82

就業途上での転倒事故に注意しましょう！



就業途上での事故が増えています。

令和5年度4月～10月の就業途上事故件数5件（5年度計は17件）に対し、令和6年度4月～10月の事故件数は11件と倍増しています。



令和6年度は「転倒」事故が11件中9件と8割以上を占めています。

寒い時期は、どうしても体が縮こまりとっさの時の対応が難しくなります。

以下のことに留意してください。

雨や雪が降ったあとの道路

雨や雪が降った後は道路が滑りやすくなります。

特に凍結している路面を歩くのは避けましょう。

もしも歩く場合は重心を落として一步一步ゆっくりと歩くようにしましょう。



自転車も同様に滑りやすくなります。凍結している道路では自転車に乗らないようにしましょう。どうしても凍結している道路を通らなければならないときは、自転車から降りて、自転車を引いて歩きましょう。

路面が濡れているときは、**ブレーキをかけても同じ距離では止まれない**と認識し、いつもより早めにブレーキをかけるようにしましょう。

また、タイヤが滑って転倒することも多くなります。

自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう。



階段や段差

階段では「**手すりをしっかり持ってゆっくり**」を心がけましょう。また、段差については「**思っていた以上に足が上がらず、つまずいてしまった**」という事故が多く、小さな段差でも気を付けるようにしましょう。





事故対策は事故が起こる前に～ヒヤリ・ハット～

事故の前の段階で、「運」がよく事故や災害に至らなかった、危なかった」という経験はありませんか？

このようなヒヤッとした、ハットしたことを「ヒヤリ・ハット」と呼びます。ヒヤリ・ハットの時点で事故対策を講じると、より被害を防ぐ効果があります。

最近ご自身が体験したヒヤリ・ハットを紙面で紹介（匿名）してもよいものがありましたら、下記の様式に記入のうえぜひ事務局までお知らせください。投稿やクイズへの応募に同封して頂いても結構です。

ハインリッヒの法則



あて先：〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3-12-1

名古屋市シルバー人材センター『ヒヤリ・ハット事例』係（ヒヤリ・ハット体験事例コピー可）

ヒヤリ・ハット体験事例

いつ	午前	午後	夕方	夜	就業職種			性別	
	就業中		途上			人数	ひとり	複数	年齢
いつ					どこで				
なにが					どうした				

ヒヤリ・ハットした時のあなたの状態は？（該当するものに○をつけてください。複数可）

注意（集中力）が足りなかった	<input type="checkbox"/>	体のバランスが保てなかった	<input type="checkbox"/>
作業において判断を誤った（迷った）	<input type="checkbox"/>	体の調子が悪かった	<input type="checkbox"/>
あわてて作業していた	<input type="checkbox"/>	作業方法を間違えて覚えていた	<input type="checkbox"/>
近いところがよく見えなかった	<input type="checkbox"/>	手順を省略しても大丈夫だと思った	<input type="checkbox"/>
事前の安全確認を怠った	<input type="checkbox"/>	作業環境（整理整頓）がよくなかった	<input type="checkbox"/>

上記の事例について、反省・改善・対策等お気づきのことがありましたら記入してください。